住宅用壁掛トイレＦＤ
施工業者様向け現場調査シート

■ご購入前に

お客様のトイレに「住宅用壁掛トイレFD」が設置可能か事前に確認してください。
※当商品は、マンションなどの軽量鉄骨（LGS）には取り付けできません。
　木造軸組住宅・2×4住宅用です。

【施工の流れ紹介動画】

■事前確認の流れ

1	2	3	4	5	6
トイレの設置寸法	トイレの窓位置寸法	床・壁の補強	給水位置	排水位置	電気位置

施工技術

●フローティングデザインでも、強度は十分。

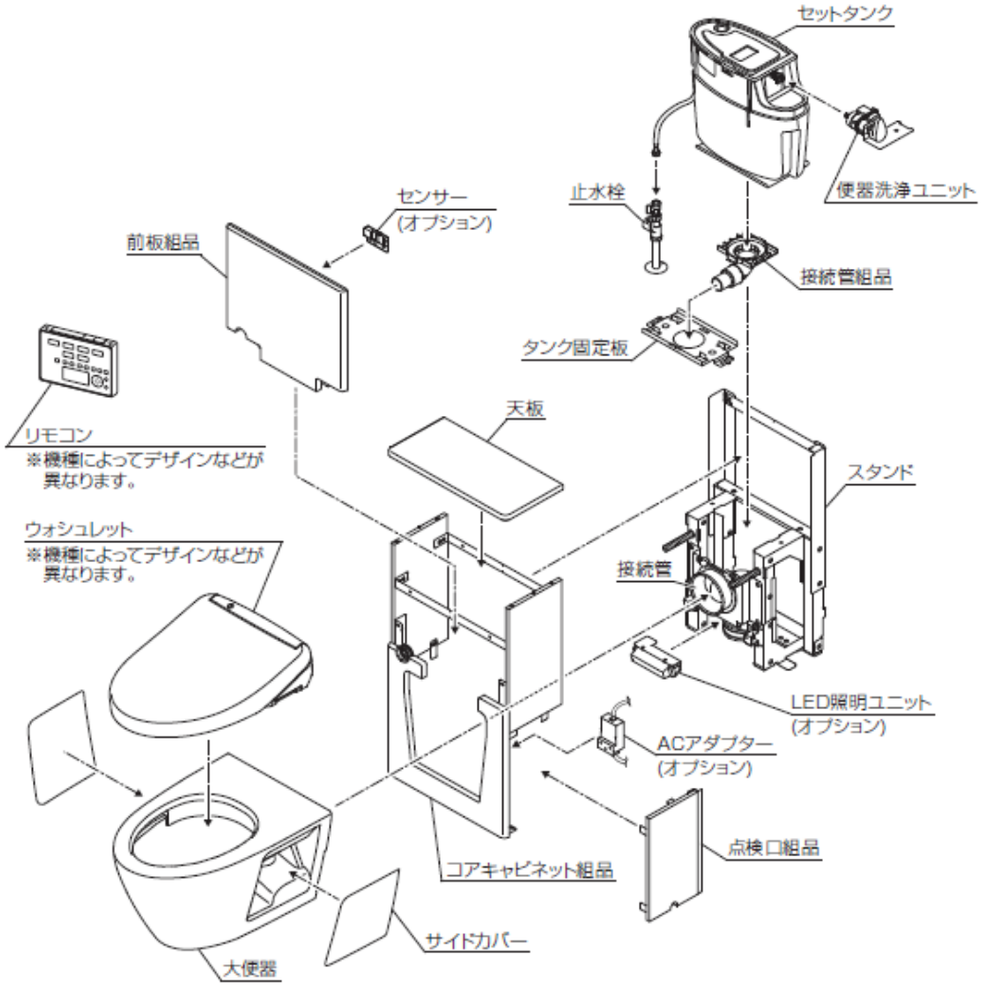
便器背面のキャビネット内に取付スタンドを設置。
スタンドで便器をしっかり固定しているので、便器が
床から浮いていても安心です。
木造住宅にも設置できます。(壁裏補強が必要です)



※マンションなどの軽量鉄骨(LGS)には取り付けできません。
※便器本体の使用上限体重　224Kg(2.2KN)

〈特許〉 壁掛便器の取付構造および壁掛便器：特許6070089　便器の取付構造：特許6080109

■商品の構成



1.トイレの設置寸法

■記入欄

①奥行き：　　mm

許容範囲　：1160mm以上

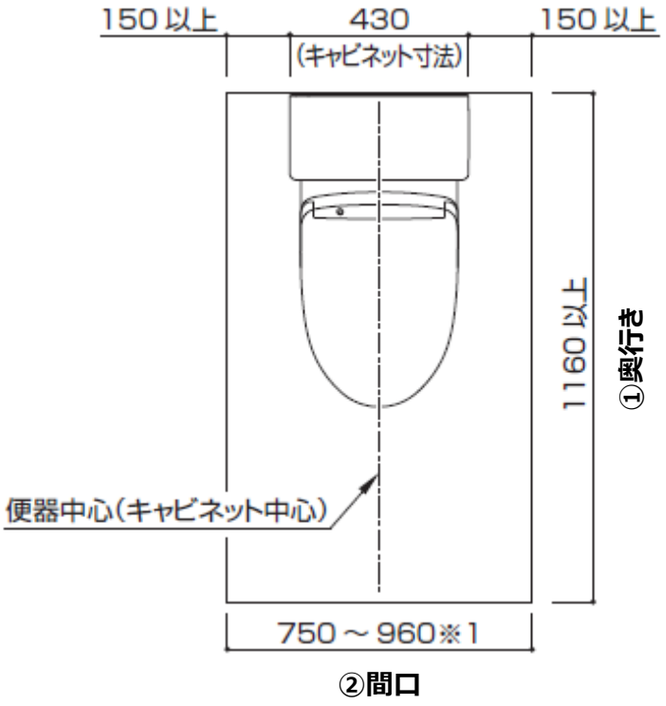
②間口　：　　mm

許容範囲

新築の場合　：750～1370mm

リモデルの場合：750～ 960mm

□許容範囲を外れる場合は設置不可



2.トイレの窓位置寸法

窓枠の位置を確認ください。

■記入欄

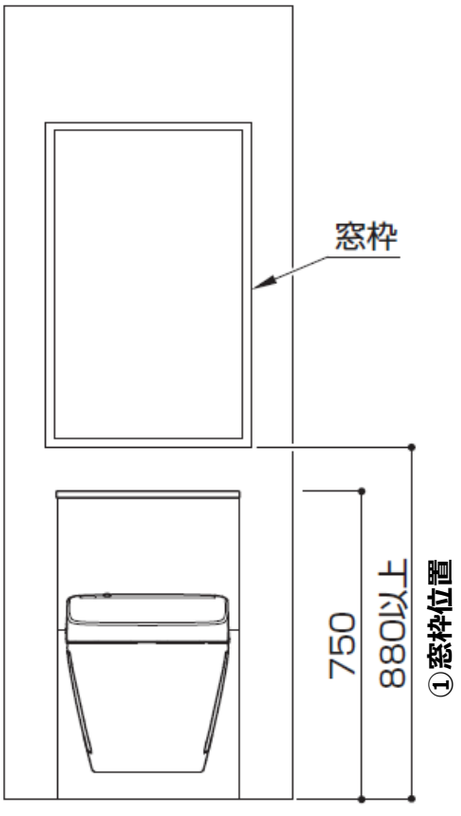
後壁窓：　　□有　　□無

■有の場合下記もご確認ください。

①窓枠位置：　床　～　　mm

許容範囲　：880mm以上

□許容範囲を外れる場合は設置不可



・リモデルの場合、後壁の補強を入れる為
　壁の奥行きが変わります、事前に枠のおさめ方を
　お客さまと工事業者さまとで検討ください。

例）窓枠化粧カバーを設置する。

3.床・壁の補強

床の補強確認ください。
根太は、高さ45mm×幅36mm以上のものを。ピッチ303mm以下で入れてください。
また、束などによる支持を、ピッチ910mm以下で入れてください。

■記入欄
木造床：　　□有

合板（ｔ12mm以上）　　□有

根太（H45mm×W36mm以上）　□有

根太ピッチ：　　mm　許容範囲303mm以下

束ピッチ　：　　mm　許容範囲910mm以下

壁の補強確認ください。

■記入欄　（チェック項目）

□　木造軸組住宅・2×4住宅であること

□　便器後壁の左右の隅柱（奥行き89mm×幅38mm以上）あること

□　便器後壁の間柱および受木は（奥行き89mm×幅38mm以上）あり、
　ピッチは455mm以下であること

□　木材や建築部材が腐食などで強度不足でないこと

壁掛け便器を安全に固定するために、上記を必ず満たしてください。

■補強の準備情報

新築の場合：
□後壁に普通合板（ｔ12mm）を設置する。

□後壁に横さん（高さ38mm、奥行き89mm以上）を設置する。

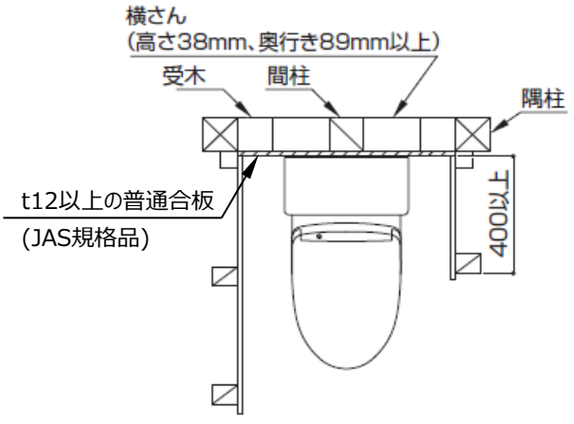
リモデルの場合
□後壁に普通合板（ｔ12mm３枚重ね、またはｔ36mm）を設置する。

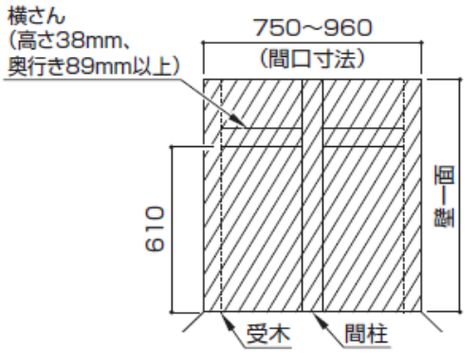
3.床・壁の補強　　つづき

壁の補強確認内容。

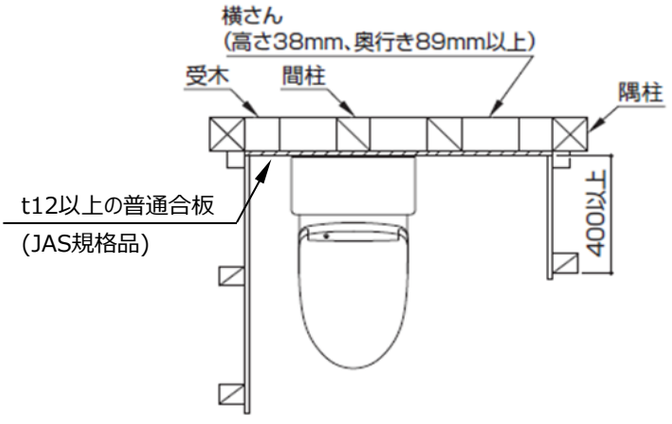
【新築の場合】

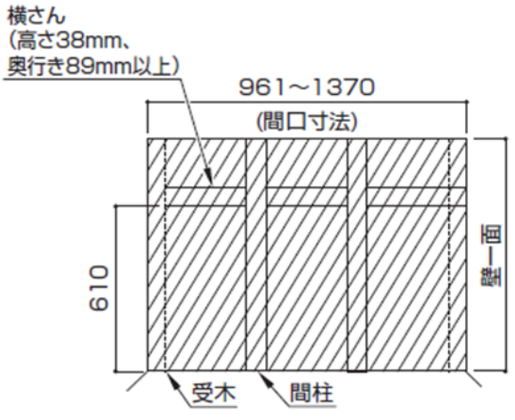
間口750～960mm





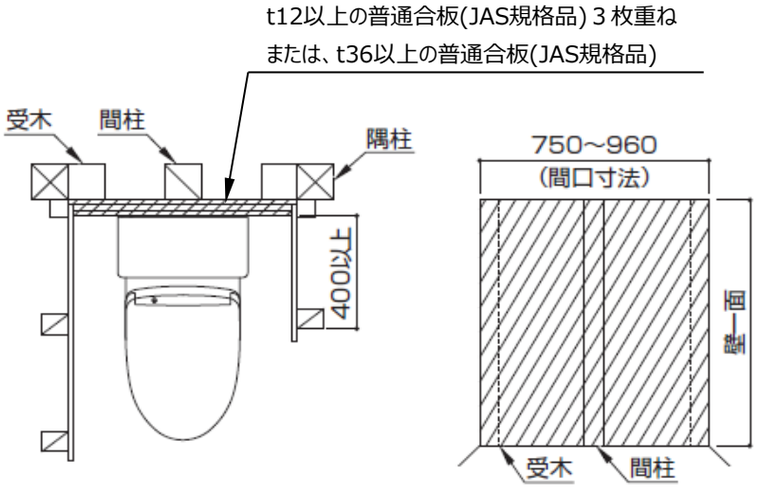
間口961～1370mm





【リモデルの場合】

間口750～960mm



4.給水位置

給水の位置を確認ください。

※止水栓は、キャビネット内に隠蔽させますのでガイド位置にない場合は移動が必要です。

■記入欄

床・壁の給水位置は下図になる

リモデルで壁補強をした場合、仕上げ面からの寸法で設置する

□床給水

幅　　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿mm　許容範囲110±10mm

奥行き：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿mm　許容範囲 90±10mm

□壁給水

幅　　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿mm　許容範囲110±10mm

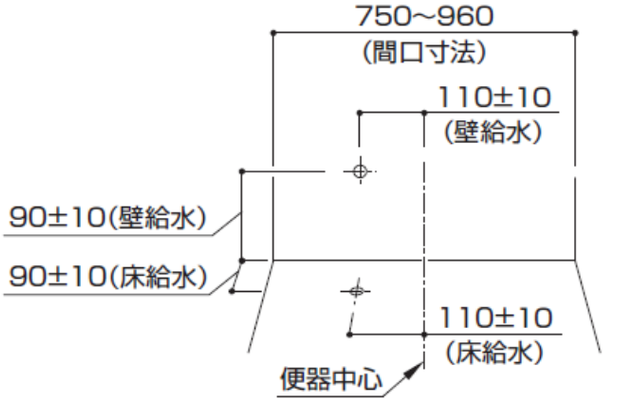
奥行き：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿mm　許容範囲 90±10mm

・右図の位置に仕上面と同一面に給水管(Rc1/2)を取り出してください。

・床給水の場合、スタンドと干渉するため右図のようなつば付き継手は使用できません。



・給水管は必ず正面向かって左側に立ち上げてください。幅木と干渉する場合は幅木をカットしてください。



※壁補強後の仕上げ面を基準にした寸法を示しています。

5.排水位置

排水の位置を確認ください。
※排水ソケットは、キャビネット内に隠蔽させますのでガイドの位置にあわせる。

■記入欄

床排水位置は、後壁から120mmの位置になる
※リモデルの場合は、仕上げ壁からの位置となりますのでご注意ください。

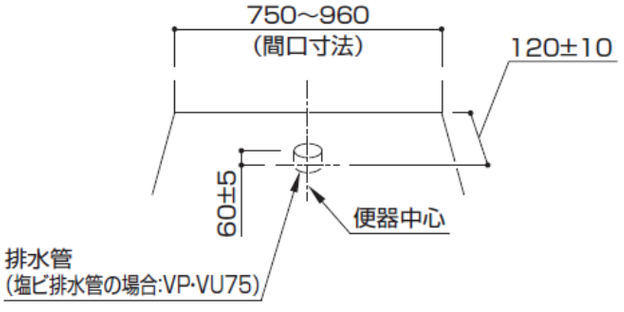
壁排水位置は、床から120mm（90～155mm）の位置になる

□床排水
奥行き：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿mm　許容範囲120±10mm

□壁排水
高さ　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿mm　対応範囲90～155mm

床排水

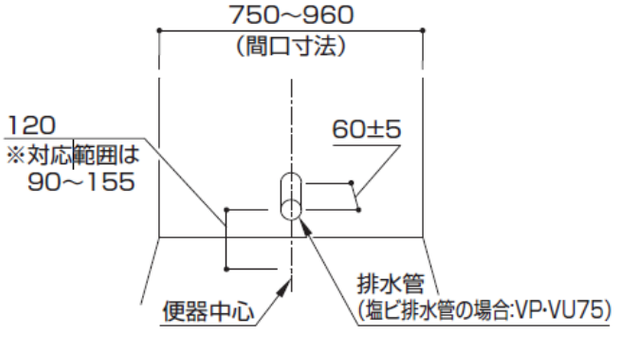
・下図の位置に便器の排水心があることを確認してください。
・排水管（塩ビ排水管の場合：VP・VU75）は床から 60±5mmで立ち上げてください。
・排水管（塩ビ排水管の場合：VP・VU100）には接続できません。



※壁補強後の仕上げ面を基準にした寸法を示しています。

壁排水

・下図の位置に便器の排水心があることを確認してください。
・排水勾配は必ず 1/50 以上確保してください。
・便器と排水管はジャバラ管（材質：軟質塩ビ）での接続となります。
・排水管（塩ビ排水管の場合：VP・VU100）には接続できません。
・幅木と干渉する場合は幅木をカットしてください。



※壁補強後の仕上げ面を基準にした寸法を示しています。

6.電気位置

コンセントの位置とタイプを確認ください。
※コンセントは、キャビネット内に隠蔽させますのでガイドの位置にあわせる。

■記入欄

コンセントは、タイプにより2口と4口タイプがありますので事前に確認する。

□コンセント位置（便器中心から）

幅　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿mm　許容範囲95±5mm

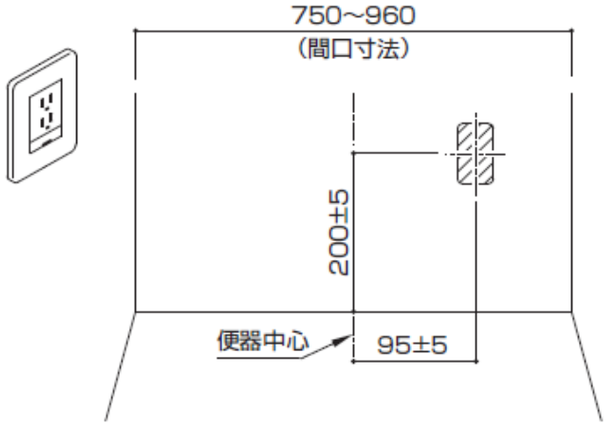
高さ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿mm　許容範囲200±5mm

	照明あり	照明なし
一般地	①	①
寒冷地 流動方式	①	①
寒冷地 水抜方式	②	①

・コンセントは接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式コンセントを設置してください。
・コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。
・コンセントは必ず正面に向かって右側に設置してください。

①2口コンセント

接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを設置してください。



②4口コンセント

接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式4口コンセントを設置してください。
※接地極は右下側

